

総合型地域スポーツクラブの活動拠点として

# 葦崎中央公園クラブハウス・ 芝生広場をリニューアルしました



完成した葦崎中央公園クラブハウス

このたび完成いたしましたクラブハウスと芝生広場は、軽スポーツから専門的なクラブ活動までを通じて、市民の健康づくりや福祉の向上を目指す、総合型地域スポーツクラブである「葦崎スポーツクラブ」の新たな活動拠点として整備すると同時に、「サッカーのまち・にらさき」のキャッチフレーズのもと、市民はもとより、県内外からあ

らゆる世代のプレイヤーや観衆が集い、サッカーを核とした交流を深めることにより、地域活性化にも寄与することを目的に整備を進めてまいりました。また、本市が、VF甲府のホームタウンの一員でもあることから、当施設を、優先的に使用が可能な主たる練習会場の一つとして提供し、現在活躍中のJ1のステージに継続的かつ安定的に定

着されるよう支援していくことといたしました。今後は、VF甲府のさらなる躍進をご期待申し上げるとともに、VF甲府が提供する地域貢献活動と、本市が推進するスポーツクラブ活動や青少年育成事業、保健福祉事業などとの協働事業を通じて、相互に意義深い施設としての活用を積極的に推進してまいります。(あいさつより抜粋)

『葦崎市並びにVF甲府にとって、  
相互に意義深い施設としての活用を積極的に推進』



セレモニーで挨拶する  
横内公明葦崎市長



竣工記念トレーニングマッチにつめかけた観客 (vs 清水エスパルス)



(株)ヴァンフォーレ  
山梨スポーツクラブ  
代表取締役会長 海野一幸氏

『武田信玄が成し得なかった天下統一を  
いずれV.F.甲府が、J1で日本一になって、  
その思いを遂げたい。』

すばらしいクラブハウスと芝生広場が完成し、本当にうれしく思います。  
V.F.甲府がプロチームになり、今年で15年目になります。が、これまで練習拠点をあちらこちら転々としてきました。このたび、クラブハウスが竣工し、優先的に使わせていただける施設ができました。ことを心から感謝しております。

サッカーのまち「にらさき」に『V.F.甲府の拠点があつてよかった。当時の韮崎市は良いことをしたなあ』と、未だまで思われるようなチームづくり、クラブづくりを目指してまいります。  
今後は、子どものサッカー教室やお年寄りの健康教室など、いろいろな形で市民やスポーツクラブの活動に協力していきたいと思っております。この地を拠点に練習やトレーニングマッチを継続して実施していきたいと考えていますので、これからもV.F.甲府にご支援いただけますようお願いいたします。

本場にいろいろな方のご尽力と理解があつて、山あり谷ありの日本随一の曲線カーブを描くクラブが、今回一つの節目を迎えて、こうしてクラブハウスの竣工の場に立ち会うことができ、すごくうれしです。  
また同時に、責任も感じています。『V.F.甲府のために皆さんにご尽力いただいたことが無駄ではなかったと、今年や来年だけでなく、10年、20年、30年先にも、こうして良かったと思ってもらえるクラブにならなければいけない』と改めて思います。

『皆さんにご尽力していただいたことが無駄ではなかったと...  
10年、20年、30年先にも、こうして良かったと思ってもらえるクラブにならなければいけない。』



ヴァンフォーレ甲府  
監督 城福浩氏

Jリーグはどのチームも専用の施設を持っています。まずはこの段階を踏むことができたことが素晴らしいことです。本場にこの投資が地域に還元されたり、クラブの成長を促すようなことにつながっていければと思います。  
今後、周りにわかるようなかたちでチームが力を発揮し続けられ、専用のクラブハウス、専用の練習場の夢にもつながっていくと思います。  
そのための第一歩として本場にありがたいと感じています。

Jリーグの公式戦と同じ環境のグラウンドを造っていただいているので、実戦に近い練習ができると思います。  
良い環境で、より良いトレーニングができ、試合に向けて最高の準備ができると思います。V.F.甲府にとって、とても重要なことであり、心からありがたいことだと思っています。

石原克哉選手からの  
コメント



サポーターから贈られた横断幕

『風景もすばらしく、  
本当に美しい場所です。』



清水エスパルス監督  
アフシン・ゴトビ氏

山が背景にあって、周りに木々があり、練習場の環境としても本当にすばらしく美しい場所です。まるでヨーロッパに来ているみたいです。

V F甲府にとっても、日本の皆さんにとっても、こういう場所を練習場として使えることは、本当に喜ばしいことだと思います。また、このような機会があったらぜひ来たいです。美しい場所ですから…。芝生も、本当に完璧な状態だと思います。

『きれいで、芝の質が高く、驚きました。』

自分の持ち味は何ですか？  
スピードが私のセールスポイントだと思います。

インドネシア代表はいつから？  
最初は19歳のときです。

ここでプレイしてみたい？  
特別な気持ちになりました。

た。インドネシアには、こういう場所がありません。本当にきれいで、芝の質が高く、驚きました。

初試合で最初のシュートを決められて？  
全力で、そして大切にシュートしました。日本に来て初めてのゴールだけに本当に



県のスポーツ交流の一環として練習試合に参加したインドネシア代表アンディク・ベルマンサ選手  
1991年11月7日生（21歳）



この日一番人気でサイン攻めにあうベルマンサ選手

に嬉しいです。

Jリーグでやっていけると思いましたか？  
今は言葉が上手く話せないのが難しいですが、今後も努力すれば、できるかもしれないと思います。甲府でプレイできたらうれしいです。

『未来を育てよう、スポーツの力で。』

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、国のスポーツ振興施策の一環として、わが国のスポーツの競技水準の向上、地域におけるスポーツ環境の整備など、スポーツの普及・振興を図るため、スポーツ振興事業に対する助成を行っています。

今回整備した「葦崎中央公園クラブハウス」は、独立行政法人日本スポーツ振興センターが所管する、スポーツ振興くじtotoの販売により得られる収益を、だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりから世界の第一線で活躍する選手の育成・支援までを目的とする、スポーツ振興くじ助成事業を活用して整備したものです。

センター理事長・河野一郎氏より、『地域のスポーツ活動の拠点や、地域の皆様の活発な交流が期待される』コミュニケーションの場として、子どもからお年寄りまでのだれもが、いつでも身近にスポーツを楽しむ場として、幅広く活用されることを期待しております。』とのお祝いのメッセージをいただきました。

